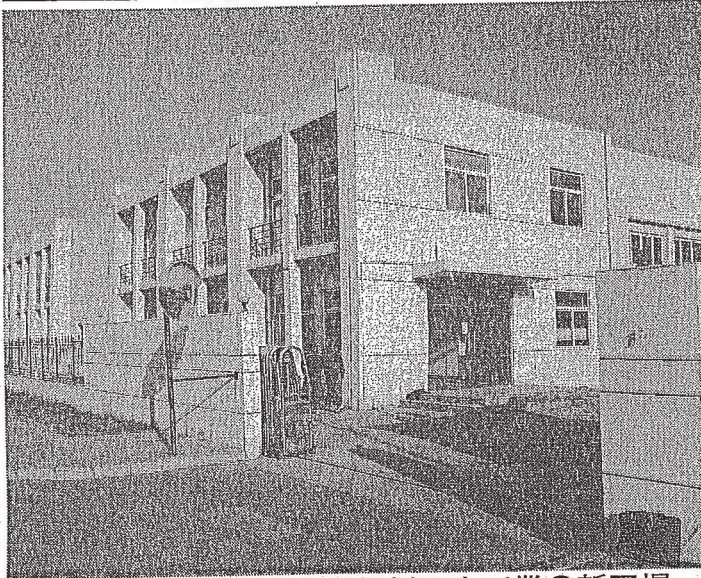


新日本工業

中国・天津に新工場

工場自動化設備を生産へ

【桑名】工場の自動化設備(ファクトリーオートメーション)の設計、製造業「新日本工業」(本社・桑名市和泉、後藤繁夫社長)は一月三十一日、中国・天津市に新工場を設立した。中国への進出は大連、佛山



中国・天津市に設立した新日本工業の新工場
(新日本工場提供)

に次ぎ三番目。三月から稼働する。

中国市場は物価の高騰で人件費が上がる一方、生産増が求められ、自動化への需要が高まっている。天津市には同社の取引先である自動車関連のトヨタグループが集中していることから、安定した品質商品の増産要望に 대응するとともに、円高にも対応しようと、新工場を戦略拠点と位置付けて生産を始める。

延べ床面積約一千五百平方メートルの工場をレンタル。売り上げ目標は初年度が四億円、三年後には十億円を目指し、将来的には欧米や中国の自動車メーカーなどへの販路拡大を視野に入れているという。